

株式会社大西製作所

2019 年度 環境経営レポート

(対象期間 2019 年4月1日～ 2020 年3月31日)



作成日： 2020年2月29日
更新日： 2020年7月31日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

□ごあいさつ

(株)大西製作所は、昭和34年(1959年)の会社設立以来、大阪・横堤の地にてモノづくりを続けています。創業以来の産業分野向け搬送機器製作によって培った機械設計・板金/製缶加工などの技術を活かし、お客さまに機械装置一式から部品まで多様な製品を提供しています。

今後も大阪市内という都市環境に調和しながらモノづくりを続けるべく、全社にて環境経営に取り組んでいきます。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、地球環境と地域環境の保全に継続して努めることで、社会の持続的な成長へ寄与することが、企業の果たすべき社会的責任であると自覚する。そして、全ての企業活動は、環境への積極的な配慮の下で実施する。

<事業活動>

当社は産業機械や各種部品類の企画、設計、製作、最終完成品の発送までを事業活動とする。

<環境保全への行動指針>

当社は、地球の温暖化など地球環境を取り巻く問題や、当社の置かれた立地環境に配慮し、当社の事業活動から生じる地域・社会への環境影響を可能な限り減少させるため、以下の取り組みに努める。

- (1) エネルギー使用量の削減により、二酸化炭素排出量の削減に努める。
- (2) 再生、再利用を徹底し、廃棄物の削減に努める。
- (3) 適正な利用により、水使用量の削減に努める。
- (4) 製品仕様の工夫・製造工程の改善により、有機溶剤使用量の適正管理に努める。
- (5) 環境に配慮した製品開発・モノづくりに努める。

上記の事項の改善のため、環境経営目標を設定すると共に、取り組みのための計画を策定及び実施し、定期的にその達成度を確認し、その見直しを図る。これにより、環境保全のための継続的改善及び、汚染の予防に努める。

当社は、事業活動に伴い適用されるあらゆる環境関連の法規制及び当社が同意したその他の要求事項を全て遵守する。

当社は、この環境経営方針を全従業員に知らせ、そのための教育啓発活動を実施する。

当社は、一般の人からの要求に応じ、この環境経営方針を提供する。

制定日：2019年10月1日

代表取締役社長 **大西 隆裕**

□組織の概要

更新日：2019年10月1日

(1) 名称及び代表者名

株式会社大西製作所
代表取締役 大西 隆裕

(2) 所在地

本社工場 大阪府大阪市鶴見区横堤5丁目1番45号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 業務グループ 大西 惟道 TEL：06-6911-0313
担当者 設計グループ 秋田 祥冨 同上

(4) 事業内容

搬送用機器の設計および製作

(5) 事業の規模

売上高 23,200 万円

		本社工場
従業員	名	19名
延べ床面積	m ²	2590 m ²

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社大西製作所
対象事業所：本社工場
活動：搬送用機器の設計および製作

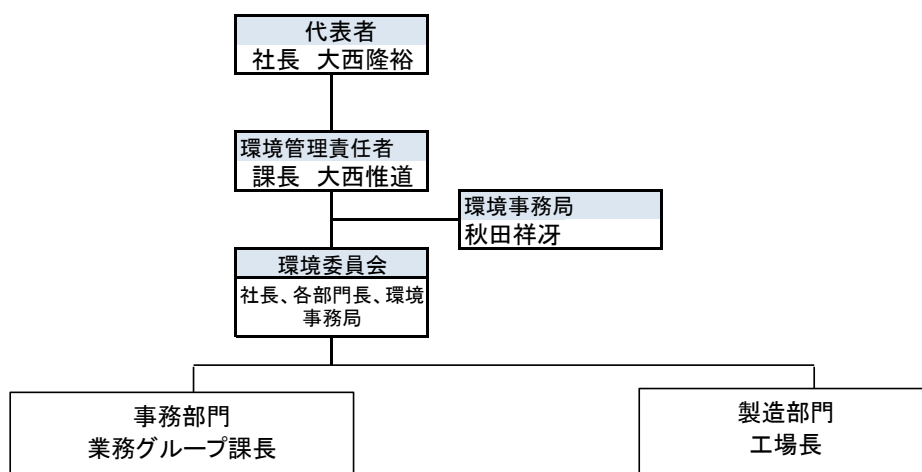
□事業や製品(商品)の紹介

当社は、搬送用機器のメーカーとして1959年に創業しました。工業材料や荷物などを運搬する搬送機などの完成品や、建築金物・板金部品などを、個別対応にて受注生産しています。

なお当社は、設計から製造（部材加工、製缶、組立、塗装、立会検査）、出荷までの全てを一貫生産で行っているのが特徴です。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2019年10月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		100,275	58,273
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン		2,390	1,530
産業廃棄物排出量	トン		3,987	1,522
水使用量	m ³		537	506

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

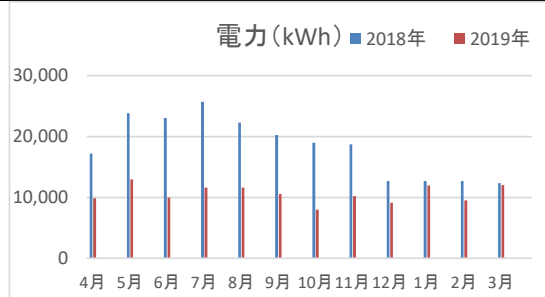
項目	年度	基準値		2019年		評価	2020年	2021年
		(基準年)	(目標)	上段: 通期	(目標)		(目標)	
				(実績)				
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	92,757	55,654	53,214	○	53,799	51,016	
	基準年度比	2018年	60%	57%		58%	55%	
	原単位	kWh/千円	0.956	0.574	1.207	×	0.555	0.526
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	5,692	5,578	3,983	○	5,521	5,464	
	基準年度比	2018年	98%	70%		97%	96%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	98,449	61,232	57,197		59,320	56,480	
一般廃棄物の削減	kg	2,390	1,625	1,530	○	1,625	1,554	
	基準年度比	2018年	68%	64%		68%	65%	
産業廃棄物の削減	kg	10,067	9,564	3,564	○	9,362	9,060	
	基準年度比	2018年	95%	35%		93%	90%	
水道水の削減	m ³	537	456	506	×	440	430	
	基準年度比	2018年	85%	94%		82%	80%	
塗料など化学物質管理	数量把握と適正管理							
環境に配慮したモノづくり	行動目標(次項による)							
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)							

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標: ○達成 ×未達成

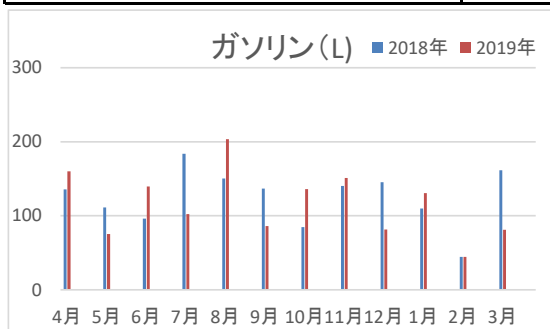
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	2019年2月より工場を2か所から1か所に集約したことおよび事務所の電気をLED照明にしたことにより大幅に削減されているが、冷房及び暖房、電気の消し忘れが何度かあったため、注意喚起の張り紙の設置を検討する。また、工場内の不使用の機械の電源OFFはできていた。
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房21℃)	△	
・不使用の部屋の空調の停止	△	
・工場内の不使用の機械の電源OFF	○	

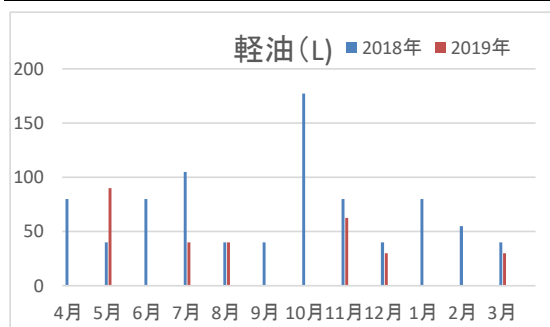


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	17,198	23,811	23,041	25,701	22,291	20,234	18,978	18,733	12,671	12,671	12,696	12,339
2019年	9,864	12,955	9,965	11,612	11,618	10,531	7,965	10,202	9,092	11,969	9,503	12,030

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標達成。
・電気自動車への切り替え	○	'12月にフォクリフト(ディーゼル車)を電気自動車へ乗り換えた効果もあり、軽油の使用量が基準年度比34%と大幅に削減された。また、ガソリンの使用量も、公共交通機関を適宜利用したことで、基準年度比93%まで削減された。
・公共交通機関利用による社有車使用の削減	○	

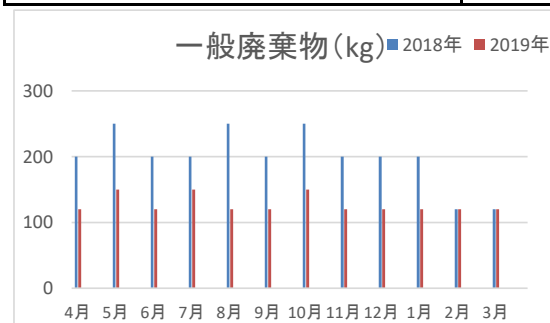


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	136	111	96	184	150	137	85	140	145	110	45	161
2019年	160	75	139	102	204	86	136	151	81	131	45	81



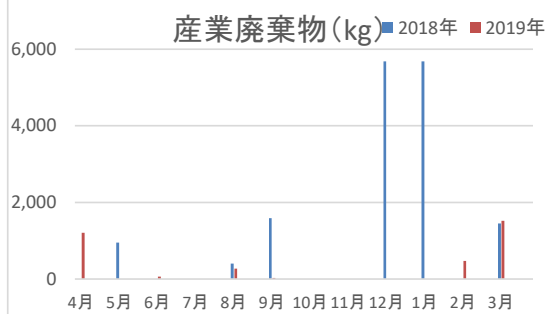
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	80	40	80	105	40	40	177	80	40	80	55	40
2019年	0	90	0	40	40	0	0	62	30	0	0	30

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	年間を通して大幅な増加は発生していないので、これからも裏紙の活用や両面コピー等を行い、このまま維持できるように努める。
・裏紙の活用	○	
・使用済み封筒の再利用	○	



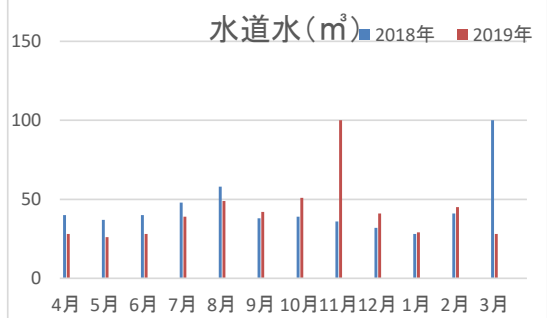
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	200	250	200	200	250	200	250	200	200	200	120	120
2019年	120	150	120	150	120	120	150	120	120	120	120	120

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	2019年度は、全体的に適正に維持管理が実施されていた。
・廃棄物の分別の徹底	○	
・マニフェスト管理	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	0	948	0	0	400	1,590	0	0	5,680	5,680	0	1,449
2019年	1,210	0	62	0	270	30	0	0	0	0	470	1,522

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	目標未達。
・節水の札の表示	○	・節水札の表示は全箇所において完了。
・異常使用量の調査	△	・10～12月にかけて漏水の影響により使用量が増加した。異常使用量の調査を徹底し、早期の漏水発見を目指す。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	40	37	40	48	58	38	39	36	32	28	41	100
2019年	28	26	28	39	49	42	51	100	41	29	45	28

塗料など化学物質管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	-	2019年度は、全体的に適正に維持管理が実施されていた。
・残塗料の削減（在庫管理）	○	
・数量の把握	○	
・蒸発の防止	○	

環境に配慮したモノづくり	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・設計ミスによる再製作の防止	△	設計ミス削減・溶接作業削減には具体的に取組めなかったが、有害化学物質の不使用などの環境設計は継続して取り組んだ。
・溶接作業の削減	△	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	多能工育成のための要請作業の教育を実施した。製造グループ内にて毎日開催の連絡会議の運用を開始した。客先からの新たな仕事への対応のため、新しい協力会社を獲得した。
・社内教育体制の強化	○	
・さらなる協力会社の獲得	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	空気圧縮機、液圧プレス
振動規制法	空気圧縮機、液圧プレス
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	スポットエアコン、パッケージエアコン、冷蔵庫、レーザー加工機用冷却装置
PRTR法	トルエン、キシレン等の化学物質

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、騒音規制法および振動規制法の届け出漏れがありました。

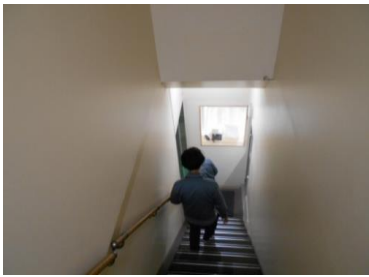

現在、届け出に向けて対応中です。

なお、違反、訴訟等は過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

2019年度は、外部からの環境上の苦情・要望等はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2020年3月13日	■実施場所 本社工場
■参加者： 社員16名	
■実施内容： <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 火災発生時の避難訓練	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
本社移転後初めての訓練だったが、避難経路は全員確認できていた。 しかし、火災発生時の連絡が騒音等で聞こえづらいこともあったので、その対策を考える必要がある。	
■実施状況の様子	 

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年7月17日

<情報>		<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) ・なし	➡	◇環境方針 ・なし
◇環境経営目標・計画の達成状況 ・なし。		◇環境経営目標・環境経営計画 ・なし
◇その他 ・なし		◇実施体制他 ・なし
<p>・弊社は現在の地にて創業後60年余り事業を行っていますが、近隣の鶴見緑地にて1990年に開催された花の万博以降、市内中心部との地下鉄が新設されたことに伴い宅地化が進みました。そのため周囲の環境が大きく変化し、より周囲環境と調和したモノづくりに取り組むため、2004年にISO14001の認証取得を行いました。しかしながら、事業規模の面からも認証の継続が難しくなり、旧来のEMS活動を上手く継続するべく、今回EA21の認証取得をするにあたりました。</p> <p>・弊社は事業内容や、予算の都合もあり、従来より外部発信があまり活発に行われていません。企業として前向きに取り組んでいることを、EA21の仕組み(環境経営レポート)を用いてお客さまや取引先、周囲の住民などに伝えることで、今後の持続的な発展に繋げていきたいです。</p>		

- | | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制他 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |